



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2021年2月5日

上場会社名 WDBココ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 7079 URL https://www.wdbcoco.com/  
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 谷口 晴彦  
 問合せ先責任者(役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 藤原 素行 (TEL) 03-5144-2250  
 四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 2021年3月期第3四半期の業績(2020年4月1日~2020年12月31日)

## (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,879	10.3	412	2.2	414	6.1	272	7.2
2020年3月期第3四半期	1,704	—	403	—	390	—	254	—

  

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	119.40	114.29
2020年3月期第3四半期	126.70	120.58

(注) 1 当社は、2019年3月期第3四半期については四半期財務諸表を作成していないため、2020年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率については記載しておりません。

2 当社は、2019年11月3日付で普通株式1株につき100株の割合で、株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して2020年3月期第3四半期の1株当たり当期純利益を算定しております。

## (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	1,927	1,432	74.3
2020年3月期	1,774	1,237	69.7

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 1,432百万円 2020年3月期 1,237百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	34.00	34.00
2021年3月期	—	0.00	—	—	—
2021年3月期(予想)	—	—	—	35.00	35.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,418	5.8	475	0.4	475	3.2	332	8.6	145.64

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）

2021年3月期3Q	2,285,000株	2020年3月期	2,285,000株
------------	------------	----------	------------

② 期末自己株式数

2021年3月期3Q	43株	2020年3月期	—株
------------	-----	----------	----

③ 期中平均株式数（四半期累計）

2021年3月期3Q	2,284,964株	2020年3月期3Q	2,008,291株
------------	------------	------------	------------

(注) 当社は、2019年11月3日付で普通株式1株につき100株の割合で、株式分割を行っております。前事業年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して2020年3月期第3四半期の期中平均株式数（四半期累計）を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「経営成績に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(セグメント情報等)	6
(重要な後発事象)	6
3. その他	7
継続企業の前提に関する重要事象等	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当社が顧客とする製薬業界においては、デジタル化技術や医療技術の実用化を迎えるとともに、さらなる法令順守体制の整備・強化が求められるようになり、持続的に成長していくうえで大きな転機を迎えています。また、継続的な社会保障制度の実現に向けて、診療報酬制度や薬価制度の抜本的な改革を受け収益構造が大きく変化をしています。そのため、創薬業務を含む全てのコストを極力減らし、低コスト体質と革新的な創薬を両立できる企業に向けてドラスティックな体制変革を進めることが求められております。また、新型コロナウイルス感染症の拡大は社会生活、世界経済に強く影響を与えています。製薬企業においては、新製品の市場導入と浸透、申請・審査対応や臨床試験の遅れなどの影響が生じると共に、業務プロセスの変更や雇用ポートフォリオの再編をしなければならない状況が生まれており、今後も、これらの課題解決を目的とした委託ニーズは高まると考えております。

このような状況の中、当社は、「仕事の成果の保証」と「新しい価値の提供」を通じてお客様の課題を解決し、医療の未来に貢献することを経営理念として掲げ、製薬会社の医薬品開発における受託業務として「安全性情報管理サービス」を軸に、「ドキュメントサポートサービス」、「開発サポートサービス」、「臨床開発支援サービス」を展開しております。

当第3四半期累計期間の売上高は1,879百万円と前年同期比175百万円（前年同期比10.3%増）の増収となりました。これは、既存案件においては新型コロナウイルス感染症の影響を受けたものの、安全性情報管理、ドキュメントサポート、および臨床開発支援の各サービスにて、前第3四半期以降に稼働開始した複数の新規取引先からの新規受託案件、既存取引先からの追加受託案件が売上に寄与したことが要因です。

営業利益は412百万円と前年同期比8百万円（前年同期比2.2%増）の増益となりました。これは、売上原価において新規取引先・既存取引先の受託案件の稼働開始に伴う人員の増員により人件費が増加したこと、また、販売費及び一般管理費において受託案件の自動化や業務効率化の促進を行うためのシステム開発人員の増加により人件費等が増加したことが主な要因です。

経常利益は414百万円と前年同期比23百万円（前年同期比6.1%増）の増益、四半期純利益は272百万円と前年同期比18百万円（前年同期比7.2%増）の増益となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (流動資産)

当四半期末における流動資産は1,735百万円と前事業年度末と比べ162百万円（10.3%増）の増加となりました。これは主として現金及び預金の増加84百万円、売上債権の増加75百万円によるものであります。

#### (固定資産)

当四半期末における固定資産は191百万円と前事業年度末と比べ8百万円（4.4%減）の減少となりました。これは主として減価償却累計額の増加6百万円、繰延税金資産の減少3百万円によるものであります。

#### (流動負債)

当四半期末における流動負債は417百万円と前事業年度末と比べ51百万円（11.0%減）の減少となりました。これは主として未払金の減少72百万円、未払法人税等の減少44百万円、人員増加による買掛金の増加15百万円と賞与引当金の増加43百万円によるものであります。

#### (固定負債)

当四半期末における固定負債は77百万円と前事業年度末と比べ9百万円（14.5%増）の増加となりました。これは主として退職給付引当金の増加9百万円によるものであります。

#### (純資産)

当四半期末における純資産は1,432百万円と前事業年度末と比べ195百万円（15.8%増）の増加となりました。これは、繰越利益剰余金の増加195百万円によるものであります。

### (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。新型コロナウイルス感染症の収束時期については不透明であることから、その影響が通期に渡り継続したと想定し、その影響を織り込んでおります。2021年3月期の業績予想につきましては、2020年5月14日に公表しました「2020年3月期決算短信〔日本基準〕（非連結）」において発表しております売上高2,418百万円、営業利益475百万円、経常利益475百万円、当期純利益332百万円のまま、業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,031,131	1,115,566
売掛金	523,400	599,235
たな卸資産	5,926	3,088
その他	13,003	17,774
流動資産合計	1,573,462	1,735,664
固定資産		
有形固定資産	56,450	51,563
投資その他の資産	144,110	140,152
固定資産合計	200,561	191,715
資産合計	1,774,023	1,927,379
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	40,889	56,815
未払法人税等	119,311	75,262
賞与引当金	59,142	102,888
受注損失引当金	1,040	8,073
その他	248,993	174,919
流動負債合計	469,377	417,958
固定負債		
退職給付引当金	46,129	55,440
資産除去債務	15,636	15,635
その他	5,533	5,990
固定負債合計	67,299	77,066
負債合計	536,677	495,025
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	250,583	250,583
資本剰余金	250,583	250,583
利益剰余金	736,180	931,308
自己株式	—	△119
株主資本合計	1,237,346	1,432,354
純資産合計	1,237,346	1,432,354
負債純資産合計	1,774,023	1,927,379

(2) 四半期損益計算書  
第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年12月31日)
売上高	1,704,035	1,879,121
売上原価	1,033,406	1,204,520
売上総利益	670,629	674,600
販売費及び一般管理費	267,100	262,299
営業利益	403,528	412,300
営業外収益		
受取利息	2	4
助成金収入	—	2,500
その他	—	89
営業外収益合計	2	2,594
営業外費用		
支払利息	16	41
株式公開費用	6,548	—
株式交付費	6,069	—
その他	—	0
営業外費用合計	12,634	41
経常利益	390,896	414,853
特別損失		
固定資産除却損	408	—
移転費用	13,927	—
特別損失合計	14,336	—
税引前四半期純利益	376,559	414,853
法人税、住民税及び事業税	122,598	138,077
法人税等調整額	△492	3,958
法人税等合計	122,105	142,035
四半期純利益	254,454	272,818

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社の事業セグメントは、CRO事業のみの単一セグメントであり、重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

### 3. その他

継続企業の前提に関する重要事象等  
該当事項はありません。